

## ケース 25 開放感がない!

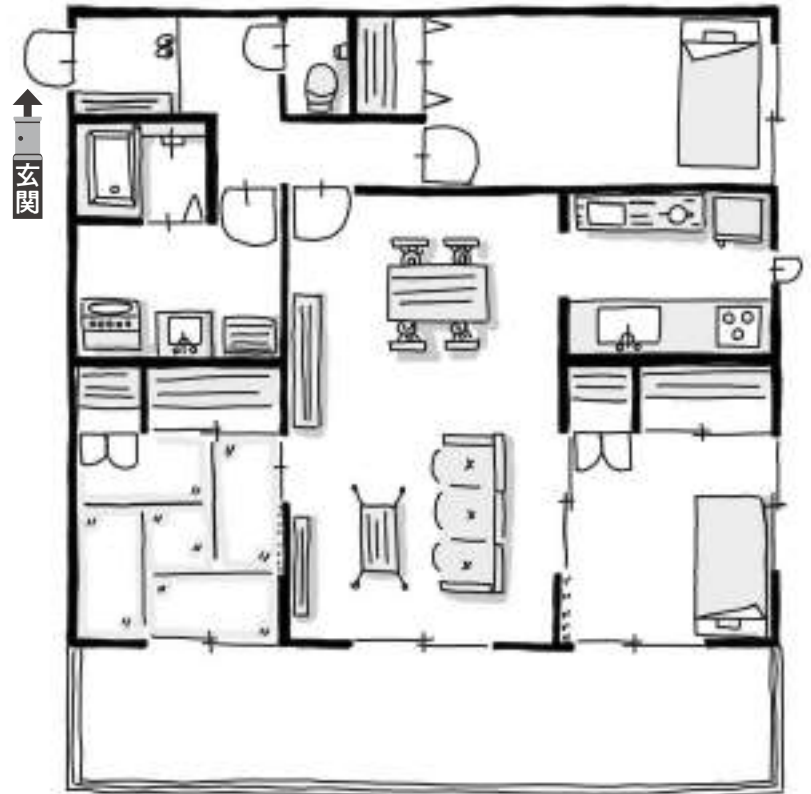
和室ありの3LDKマンションは、平成期のもっともポピュラーな間取りといえるでしょう。でもこのタイプの間取りは扉がやたらと多く、閉塞感強め。無機質な雰囲気も、改善したいところです。

### 無個性なマンションが ホテルライクな空間に

マンションによくある3LDKの間取り。使い勝手が悪いわけではないけれど、扉が多く、各部屋が遮断されがち。LDにいても、目に入る景色が単調です。

そこで和室をなくし、キッチンと寝室の位置を変えてみると……「愛想ナシ」の部屋が、さまざまな表情を持つ空間に変わりました。柔らかなカーブを描くカウンタースペース①、ダイニングセットとソファ②に加えて、「しっとり飲む用」の一角③も。ちなみに、LDKと寝室を区切るのは、扉ではなく「カーテン④」です。この部屋、何かを思い出させませんか？ そう、ホテルのような空間なのです。間接照明をうまく活用すれば雰囲気満点。我が家が極上のスイートルームに！

悪い間取り 扉が視界をさえぎり、狭苦しい印象



良い間取り 子どもが巣立ったら部屋を減らし、遊び心をプラス

